

センター通信

第253号

2007年7月30日発行

名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro
461-0004名古屋市東区葵一丁目26-10ユニブル新栄301号
郵便振替 00840-8-40765 [名古屋エスペラントセンター]
<http://homepage2.nifty.com/nagoja-esperanto/>



名古屋エスペラントセンターの"ORA LIBRO"。今まで使っていた歓迎
記入帳がいっぱいになりしばらくそのままだったがUK前に新しく作った。
山田義がB5で製本。

目次

東海大会の報告-----	黒柳吉隆	2
セントレアでエスペラントのボランティア活動-----	磯部晃	4
第56回東海エスペラント大会に参加して ー東海大会と東海連盟ー -----	鈴木善彦	7
Ĉambro Ĉarmaの公開学習会-----	山田シマ子	8
岐阜の豊田元樹さんが-----	山田義	9
Surstrata fidindeco-----	Ikai Yosikazu	10

東海大会の報告

黒柳吉隆

東海大会は、東海連盟が主催し、連盟会員以外にも呼びかけたり、連盟とは別の「準備会」が中心となって開催したりしてきたが、ここ数年、参加者が少なく、低調であった。そこで、大会を活性化するために、「準備会」方式で企画し、具体的な準備作業を豊田エス会に委託して、6月23、24日、東海市立勤労センターにて開催した。参加者は34名（うち不在参加者2名）と当初企画時の予想を上回る大会になった。大会記念品は「エスペラントでうたう世界の歌」第1集。Libroservoは名古屋エスペラントセンターとエスペラント教室が行い、横浜UKのTシャツも売れた。

大会の行事である分科会の1つに「東海エスペラント連盟総会」があり、初めに、この大会を待たず、5月12日に惜しくも亡くなられた東海連盟会長の豊田元樹さん（岐阜エス会）に感謝、ご報告、ご冥福を祈って黙祷を捧げた後、広く参加しやすい連盟を目指して、規約の全面改定などが行われた。事前に改定案が検討されていたので、原案通り可決された。

規約改定案の基はKLEGの規約で、この地方の実情に合うように内容を一部変更した。従来の規約からの大きな変更点は、会員の資格を "La Movado" の読者に限定していたのを当地方に活動の拠点を置く団体、個人で規約を尊重する者なら、だれでも会員になれるようにしたこと。また、「活動」の範囲も広く解釈し、学習会の集まりも団体として加わることができるようにした。

実際の主な活動は、毎年開催する「東海大会」の常置準備会的な役割と、各会・グループ単位では開催が難しいエスペラント中級セミナーの開催、一般市民向けに各会・グループが開催する入門講習会・展示会などの相互援助などであろう。

夕食後の代議員会を傍聴した未加盟の団体は、「しばらく連盟の活動を見てから」と加盟を保留するところが多かったが、新しい規約に基づく代議員会で、今年度（12月まで）の役員として、会長に黒柳吉隆（豊田エスペラント会）、副会長に杉山茂喜（個人）、会計に竹崎睦子（エスペラント教室）を選んだ。また、従来からの加盟団体も規約の団体基準（3名以上の会員）に満たない団体は、個人会員に切り替え、実質的に活動できる連盟にするよう話し合った。

名古屋エスペラントセンターでは、事前に委員会で改定案を検討し、「連盟の活動状況を見て、加盟するかどうかを次の総会で決める」と結論しているが、改定された連盟規約は、センターの活動と協働するに相応しい内容であり、会員数も活動内容も東海地方の中心的なエスペラント団体として、連盟規約が大きく改定された機会に積極的に加盟し、活動をリードする立場になることが期待されている。連盟とセンターが協働することによって、利用率が低い事務所の利用も、書籍の販売も拡大し、センターの経営基盤も安定するという1石3鳥の効果があると思われる。会員の皆さんが次の総会で、加盟の意思表示をされるのを待ちたい。

もう1つの分科会は、この地方では比較的に学習成果が上がっている学習グループ "Ĉambro Ĉarma" の公開学習会と、学習についての経験交流会である。交流会では、学習

サークル "Rondo SONKISOJ"、犬山学習会、三島エスペラント会、豊田エスペラント会、恵那学習会がそれぞれの様子を報告した。

午後からの開会式では、各団体（東海連盟、名古屋エスペラントセンター、名古屋・三重・四日市・豊田・掛川・三島・静岡の各エスペラント会、犬山・恵那・SONKISOJ・Ĉambro Ĉarma 各学習会、仏教エスペランチスト連盟、エスペラント教室、仏教書を読む会）の活動報告、個人では、磯部晃さんの中学校での授業と中部国際空港でのボラン



ティア案内の報告があり、国際大会などへの参加報告では、アメリカ夏期講習会、オーストラリア夏期講習会、ウズベキスタンの小学校と日本の小学校との交流、エスペラントアジア大会、ヒマラヤの集い、フィンランドやエストニアへのエスペラント旅行、ヨーテボリ・北京・ヴィルニュス・フィレンツェの世界大会と続いた。海外旅行が高嶺の花でなくなった現在、エスペラントが意思疎通の道具であり、個人的な交流からグループの文化交流まで、いろいろなところで役立ってきていることをこの地方においても感じられる報告であった。

休憩後、「世界大会の楽しみ方」では、Akiraさんが、初心者として外国のエスペランチストと初めて話す楽しみ、プログラムに参加する楽しみ、そして横浜での世話する楽しみについて自らの体験を基に分かりやすく話した。また、それぞれ、横浜の世界大会前後にこの地方を訪れる外国人との交流企画についての情報を交換した。間もなく、いながらにして外国の人々と交流できることは、今まであまりエスペラントを使う経験が無かった人にとってはよい刺激になりそうである。

夕食後の懇親会は、盛り上がり、23時お開きの予定が24時になり、翌朝の朝食がまた、花盛りになった。

2日目の午前は「エスペラントで遊ぼう」（黒柳）、「初級会話」（石川）、「文法相談」（Akira）、「世界大会に向けての会話」（山田）と4つの学習会を並行して行った。

午後は遠足。あいにくの雨であったが、30分ほどのセントレア（中部国際空港）へ5台の車に分乗して14人が参加。ここで、エスペラントでの案内のボランティアをしている磯部晃さんの案内で空港内を見学した。ここでの用語は、すべてエスペラント。現場で空港の概要を理解したので、外国からのお客さんを出迎えても、もう困ることはないであろう。

今大会は、大会の再構築のため、講師陣も内部でまかない、一般公開番組は割愛したが、内容はいろいろ豊富で、当初の企画どおり、「楽しい」大会になった。来年の大会についてはまだ白紙だが、新しい規約の下で東海連盟が発展すれば参加者も増え、一般公開番組にも取り組めるであろう。そして、繰り返しになるが、名古屋エスペラントセンターに何が期待されているかを今一度、会員の皆さんがお考えいただければ、この報告者としては、大きな喜びである。（第56回東海エスペラント大会準備会）

セントレアでエスペラントのボランティア活動

磯部晃

「第92回世界エスペラント大会」が、横浜の「パシフィコ横浜」を中心に「みなとみらいホール」など5会場で、大会名誉会長・中田宏横浜市長のもとで、2007年8月4日～11日まで開催される。（世界約60か国から2000人近い参加者が見込まれる。）

これを受けて、東海地区（愛知・岐阜・三重・静岡（湖西））のエス語愛好者も中部地区への受け入れを検討してくださり、空の玄関“中部国際空港”をもっと知ろうの勉強会を持つことになりました。この企画に対し、参加の機会を私に与えてくださった”東海エスペラント連盟”に対し深く感謝いたします。

6月24日(日) 14時から16時まで（約10分遅れで）空港見学・勉強会は予定通り円滑に実行されました。実施にあたって

は、中部国際空港のボランティア事務局に、世界大会や東海エスペラント大会の書類を提出することで、開催の趣旨をご理解をいただき、当日のエス語による説明が参加者に円滑・明瞭に届くようにと、Orelringa sistemo (FM送受信機のヘッドホーン)の貸出しにご協力をいただきました。この場



Orelringa sistemo

（書面）を借りて、重ねて御礼申しあげます。

当日は、10～20名の参加を見積もってありましたところ、2名の急用者があったものの、14名の参加をいただきありがと

うございました。あいにくの雨のため、見学コースの最終章となる「スカイデッキ」や「展望台」からの空港説明は省略されました。

空港での主な用語を順不同で列記しておきます。独断で決定した単語もありますので、より適切な表現が見つかりましたら、是非お知らせください。

中部国際空港 centrojapana internacia flughaveno その愛称は"セントレア"です。 ties karesnomo estas "Centrair".
空港 flughaveno
飛行機 flugmaŝino; aviadilo; aeroplano; avio
展望台 observejo; rigardejo
滑走路 rulvojo
離陸；着陸 deterigo; alterigo
ジャンボジェット mamuta jeto
旅客機 flugmaŝino por pasaĝeroj
貨物機 flugmaŝino por frajto
空港消防車 fajrokamiono ĉe flughaveno
バルクカーゴローダー ŝarĝveturilo por barkokargoj
航空機けん引車 remorko por aviadilo
タクシーイング taksiado, ago de aviadilo, kiu faras al si movon sen helpo sur tero.
エプロン antaŭareo
搭乗橋 ponto por enaviadiliĝo
管制塔 kontrolturo
管制官 kontrolisto por flugoj, kiu regulamentas trafikon de ĉielo.
レーダー radaro
無線機 radiokomunikilo
階段状のつくりに見えるアンテナ trabajo ŝtupareska, estas anteno, で、
管制官はパイロットと交信します。 per kio la kontrolistoj komunikas kun pilotoj.
国際線 internacia flugo
国内線 enlanda flugo

南ウイング alo suda
北ウイング alo norda
国際線到着コンコース korso alvena de internacia flugo
国内線到着コンコース korso alvena de enlanda flugo
ゲート（搭乗口） pordo por enaviadiliĝo
税関職員 doganisto
税関検査官 priserĉisto doganeja
検疫所（CIQ）inspektejo por kvaranteno
入国審査場 ekzamenejo por enlandiĝo
国際線手荷物受取所 ricevejo por pasaĝera pakaĵo de internaciaj flugoj
税関検査場 doganejo
到着ロビー alvena vestiblo
出発ロビー forvetura vestiblo
出迎えに行く iri por bonvenigo
見送りに行く iri por bondeziri ekveturon
エレベータ lifto; elevatoro
上り；下り ascendi; descendi
動く歩道 movebla pasejo
エスカレータ eskalatoro; rulŝtuparo; ŝtuparlifto
車イス veturseĝo
レンタカー luaŭto
観光バス turisma buso
高速船のりば ascendejo de ŝipo rapida
埠頭（波止場）varfo
駐車場 parkumejo
アクセスプラザ placo de aliroy
案内所 informejo
集合場所 rendevuejo; renkontejo
セントレア空港の電車站 stacio de trajno de flughaveno "Centrair"
出発ロビー elira vestiblo
旅行会社カウンター kontoro de turisma buroo
チェックインカウンター giĉeto, kontoro por bileto kaj pakaĵo
保安検査場 inspektejo por gardo de sekuro

搭乗待合室 atendejo de flugo
スターアライアンスラウンジ sidĉambro
Star Alliance
出国審査場 ekzamenejo por ellandiĝo
制限／非制限 商業施設 komercaj instalaĵoj
en restriktejo /malrestriktejo
イベントプラザ placo de eventoj
交番 policejo
外貨両替・銀行 monŝanĝejo /banko
キャッシュサービス moniga servo
郵便局・ポスト poŝtoŝejo /poŝtejo
手荷物一時預かり所 deponejo por pakajo
コインロッカー aŭtomata deponejo
カート puŝĉareto
喫煙所 fumejo
きっぷうりば・精算所 biletvendejo /
alĝustigejo
インターネットコーナー angulo de interreto
乗り継ぎ transito
トイレ necesejo
多目的トイレ multcela necesejo
授乳室 flegejo /beboj
水飲み場 akvotrinkejo

診療所 kuraciejo; kliniko
自動販売機 aŭtomata vendejo

中部国際空港は、国際線・国内線の利用者を単に歓送迎するだけの空港ではなく、旅客ターミナルビルの4Fにある「スカイタウン」で、飛行機を利用する人はもちろん、見送りや出迎えの人、遊びに来た人にも楽しめる施設がたくさんあります。グルメ、ショッピング、リラクゼーション、イベントなどエンターテインメントがいっぱいです。

“Ĉielurbo (Skytown)” situas sur la kvara (4a) etaĝo de pasaĝera konstruaĝo. Tie troviĝas multaj ĝojindaj instalaĵoj ne nur por tiuj, kiuj uzas aviadilojn aŭ por tiuj, kiuj venas bonvenigi aŭ bondeziri ekveturon, sed ankaŭ por tiuj, kiuj vizitas distri sin per ĝoja tempo. Vi trovos jen: Gourmet, Shopping, Relaxation, Events, (Frاندemo, Butikado, Malstreĉiĝo, Eventoj) kaj plenaj enterprenaĵoj.



Orelringa sistemoの装着 【写真】山田義

第56回東海エスプラント大会に参加して

— 東海大会と東海連盟 —

SOJO（鈴木善彦）

初めに

東海エスプラント大会に参加したのは何年ぶりだろうか。私は1971年にエスプラントを学び始め、それ以降ほとんど毎年東海大会に参加してきたが、2001年に実行委員会形式（委員長：山田義）で行なわれた第50回東海エスプラント大会（於刈谷勤労福祉会館）に参加し、翌年（2002年）に三重エスプラント会が主体となり、東海エスプラント連盟共催で行なわれた第51回東海エスプラント大会（於みえ県民交流センター）に参加して以来、5年ぶりであった。2002年以降は東海大会の実行組織があいまいであったこともあり参加しないできた。今回の第56回東海大会は豊田エスプラント会が主体となり開催したこともあり、責任の所在がはっきりしており、参加する気になったものである。

大会全体の感想

大会の初めに、各団体の活動報告をする時間があつたため、鈴木が名古屋エスプラントセンターの簡単な報告とセンターへの入会の勧誘を行った。この大会中に富田伴七さん山田シマ子さんが新たにセンターの会員になっていただき、これだけでも大会に参加した意義があつたと感じた。

大会では多くの参加者の発言、報告があり、各プログラムや懇親会、世界大会への準備説明、大会後のセントレアの見学（磯部晃さんの案内）などどれも楽しく、充実しており、5年ぶりの大会は私にとって有意義なものであつた。これもひとえに準備された豊田エスプラント会の人たちのおかげと感謝している次第です。

東海大会と東海連盟

ところで、今回東海連盟が姿を変え、新しく発足することになったため、今までの東海大会と東海連盟の関係について簡単に触れておきたいと思う。

今回の大会の初日の午前中に東海連盟の総会が開かれるというので、傍聴することにした。（1970年代半ば以降、連盟の総会などほとんど開かれたこともなかったと思われるが。）

1980年代にはすでに東海大会は東海地区のエスプランチスト（エスプラント諸団体）の大会であり、連盟の大会ではなかったが、一応主催名には共催の中に東海連盟の名前が入っていた。

1990年代に入ると、連盟の実体が無いということで、主催者から連盟の名前が無くなり、センターとNESとの共催で行なったり、連盟の名を復活させたいというNES（連盟）主催（1993年）で開催したり、連盟とはまったく関係ないことをアピールするため、わざわざ東海地区大会（1995年）の名前でNESが中心となり大会を開催したり、センターが単独で開催したこともあるなど1990年代以降は主催者がそのつど変っていた。だが、実行委員会形式なり、地方のエスプラント会など何らかの責任者が分かる形で行なわれてきた。

2002年の大会の祭には当時の名古屋エス会の会長の判断もあり、東海連盟を正式に解散することとなったと思っていたのだが、その後、実質的な加盟団体不明のまま連盟の名前は残り、連盟主催の形で東海大会が続いてきた。どの団体が、また誰が主催なのか、責任者があいまいな大会のように私には思っていた。

今回、エスペラント教室の竹崎さん、名古屋エス会の富田さんのお二人による総会が開かれ、連盟の規約の改正が承認された。La Movado誌の共同発行の項目がなくなり、団体の要件（会員3名以上）が明確化され、個人加盟も認められる内容である。その日の夕食後に開かれた代議員会では、新たに豊田エス会が加入申込みを行い、個人では静岡の杉山さんも加入された。会長には黒柳吉隆さんが選出された。今後は各団体から正式な申込みを受けつけるとのことである。これからは新しい規約の元、実質的団体の加盟が増え、連盟の名にふさわしい活動が行なわれることを期待している。

最後に

今後も東海大会は行なわれるであろうが、主催者が地方会にしろ東海連盟にしろ責任ある団体名の元で行なわれることになり、来年以降は、東海地区以外のエスペランチストにも、エスペランチスト以外の参加者にも胸を張って参加を呼びかけることができるものと思われる。

Ĉambro Ĉarma の公開学習会 - - - - -

東海大会の分科会の一つとして行われた土曜日午前中のĈambro Ĉarmaの公開学習会には15名が出席しました。その内6名は常連。司会は山田シマ子が担当、いつものように順番に、用意してきたparoladoを発表しました。

山本由紀子さん、“Mi partoprenis kelkajn Universalajn Kongresojn”。長谷川了示さん、“Mi perdis vidkapablon, kiam mi estis 12 jara”。前田愛子さん、“Mi partoprenos en UK en Jokohamo”。斎木昌代さん、“Mi kunlaboros kiel helpanto de la vartejo, en Jokohamo”。斎木彰さん、“Pri bildoj de Kongio”。山田シマ子、“Mi vizitis Yatugatake Esperanto-Domon”。それぞれのparoladoのあと、demandojやrespondojがありました。

いつもの勉強会では活発にdemandojがあり、時間が足りないくらいエスペラントの会話が続きます。初めての出席者のために後半は斎木彰さんが担当してくださり、出席者が順番に、エスペラントや日本語で各地の状況を紹介して、良い交流ができました。

なおここで、Ĉambro Ĉarmaのいつもの例会を紹介しておきます。毎月1回、第3金曜日に名古屋女性会館で勉強会をしています。朝は10時に始まって持参のお弁当のあと午後3時までです。午前中はエスペラントだけを使った勉強、午後は本を読んで訳したり、エスペラントの歌を歌ったりします。どなたでも学習を目的でおいでください、お待ちしております。

今後の予定

7月の例会 7月27日、外国からのお客さん10名を迎えて、恵那の「モンゴル村」で交流会が予定されており、Ĉambro Ĉarmaもこれに合流します。（参加予定者、合計25名。）

8月の例会 8月16日～17日 ベトナムから4人のお客さんを迎えて「八ヶ岳エスペラント館」で一泊の交流会を予定しています。

お問い合わせは、山田シマ子まで。

電話、0562-98-8473 メールアドレス simakoj@mac.com

岐阜の**豊田元樹**さんが5月12日病気で亡くなりました。

豊田さんは1941年に新潟大工学部を卒業、岐阜市内の富田高校で化学を教え、校長も勤め、最後までエスペラントを大切にしていた方です。

小学生のとき「少年倶楽部」の記事でEを知り、45年病氣療養中にエスペラントを独学しました。52年には岐阜薬科大で講習会を開いたり、富田高校ではエスペラントクラブを指導しました。

今回、奥さんの和子さんから聞きましたが、探検家セケリーを招き自宅で映写会も開いたり、UK東京大会の後ではフランス・リヨンから来たペラさん姉妹も岐阜城や長良川の近くの自宅に招かれたとのことでした。

長年、名古屋エスペラントセンターの維持員として応援してくださり、年に2回の寄付も寄せてくださったと会計から聞いています。内外の購読誌の今後の送付中止を知らせようと和子さんから頼まれて、各誌にe-メールでその旨を知らせました。そのうちの”Heroldo”誌からは次のような返信があり、その適切な対応ぶりに感心しました。

Ni forstrekiis lian nomon el la adresaro.

S-ro Toyoda regule pagis la abonon ĝis la fino de 2007.

Tial la restantan duonon de la jarkolekto LF-koop sendos al senedza patrino, tre bona sed malriĉa esperantistino en Afriko. Tio estos kvazaŭ donaco de s-ro Toyoda. El Afriko soros preĝo por lia animo.

Bonvolu informi la vidvinon pri ĉi tiu decido.

Kore salutas

Kooperativo de Literatura Foiro



豊田元樹さん

1920-2007

6月20日黒柳吉隆さんにご遺族を弔問してきました。2階に通されると豊田さんの勉強部屋は長年にわたって整理整頓されていたことが分かりました。和子さんから部屋を片付けたいので本箱に積んであるエスペラントの関係雑誌や書籍はどうしましょうかということで、大切な遺品はセンタで保管することにしました。段ボール箱をいくつも車でセンタへ黒柳さんと運び込みました。次いで7月6日は猪飼吉計さんと出かけ庭の物置に積まれた

戦前からの雑誌などを車に載せました。その日のうちに大量の本をセンタに入れました。台車とエレベータが助かりました。和子さんからはセンタに志をいただきました。

センタでは豊田さんを記念して遺品の中の「エスペラント日本語辞典」を勉強用に並べておくことにしました。

Revuo Orienta 2006.04に豊田さんの「回想」が載っています。今回、岐阜の加藤文男さんがRevuo Orientaに追悼文を寄せています。



右端が豊田和子さんと豊田さんの弟さん

山田義・記

Surstrata fidindeco

"Surstrata fidindeco" estas esperantigo de angla esprimo "street credibility". Tio estas la esprimo ghuste pri la nocio kiun mi prikovis kaj serchis jam de longe vane en Esperanto au en la japana leksiko, sed tiun esprimon antaŭ ne longe hazarde mi trovis en la sola gazeto profitcela pri un ciklo.

En tiu gazeto oni uzis la nocion lau mia resumo jene: nur la komuna kapablo un cikli sufichas por kredigi la senmalicecon kaj pretecon de interrilatigo, ecj se ili estas persone tute ne konataj inter si ghis nun.

Alia ekzemplo por la nocio "surstrata fidindeco". Flua parolpovo de Esperanto estas forta kialo por fidebleco kaj senmaliceco, ech se li aperas tute subite de nenie. Certe ni havas bonan kialon por fidi hazarde renkontitan Esperantiston kiu scipovas Esperanton bone.

Tiaj surstrata fidindeco venas de la relativaj malfacileco kaj malofteco de la koncernaj kapabloj. Tre malprobable oni povus akire bonan kapablon de Esperanto au de un ciklado por celi trompi naivajn esperantistojn au un cikantojn.

Tio estas char oni malofte akiras scipovon de Esperanto por trompi samideanojn. Sekve esperanta lingvokapablo estas multe pli bona fidindiga atesto ol ekzemle verda stelo au nomkarto kun indiko de membreco de UEA, char lingvokapablon oni akiras nur post konscia kaj longa kaj pena ekzerco sed verdan stelon au membrecon relative facile akiras. post simpla acheto au konta ghirado por turisma celo, au ech post prunteprenado au ... shtelado au perfonta rabado.

Tamen oni devas chiam singardi kaj ne tre facilanimi. Chiam estas du flankoj al meneroj. Se maliculo iel akirus tian "utilan" instrumenton, tio povus esti des pli danghera al homoj kiuj pretas akcepti tiun shajnan amikon. Fakte antaŭ ne longe iu sankorpa homo facile povis trompi multajn surdulojn. Li maskis sian veran intencon uzante gestlingvan kapablon. Certe la surduloj relative facile akceptis lin ne kiel suspektan fanfaronulon sed kiel amikon kun bonvola intenco. (Ikai)

編集後記：東海大会に出席した長谷川了示さんから、印象が一言メールで入りました。

「東海エス大会は刺激的でした。流暢なエスペラントが飛び交い、すっかりドギマギしてしまいました。UKだったら（気絶）してしまいそうです。ただ、若い方々の姿が少なかったのは、ちょっと驚きでした。このままに推移すれば、我が国での運動は早晩なくなるのでは、とショックでした。若者対策が急がれますが、さしたる名案も思い浮かびません。」第253号は東海大会特集号となりました。次号は世界エスペラント大会の特集になります。報告、感想、写真などみなさんの投稿をお待ちします。エスペラント文も。次号には名古屋エスペラントセンターの入会案内や利用方法を載せます。 編集者